

子宮破裂症例の母児の転帰および胎児心拍波形異常の種類に関する研究へのご協力をお願い

研究代表者 所属 九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学 職名 教授
氏名 加藤 聖子

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会 **の許可ならびに九州大学病院の倫理審査委員会の承認**のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2015 年 1 月 1 日より 2020 年 12 月 31 日までの間に周産期登録参加施設で分娩された方

2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 ●●●●●●●●

日本産科婦人科学会の許可番号 ●●●●●●●●

研究課題名 子宮破裂症例の母児の転帰および胎児心拍異常の種類に関する研究

3 研究実施機関

九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学分野 教授 加藤聖子

九州大学大学院医学研究院 保健学部門 教授 諸隈誠一

4 本研究の意義、目的、方法

子宮破裂の発生は 0.15% と非常に稀です。

日本産科婦人科学会の周産期登録データベースの全国調査のデータを用いて、子宮破裂となった際に輸血や子宮摘出などが、どれほどの割合で必要になったかを検討します。帝王切開などの子宮の手術を受けた後に自然分娩を希望される方に、有用な情報をお示しできると考えています。

また子宮破裂が起こった際の赤ちゃんの心拍波形異常のパターンを明らかにすることで、子宮破裂の早期診断の手掛かりになるような情報が得られる可能性があります。

5 協力をお願いする内容

日本産科婦人科学会の周産期登録データベースに登録されている以下の診療情報を利用します。

○子宮破裂が起こった方の情報

年齢、出産回数、それまでの子宮の手術の経験、子宮奇形の有無、子宮収縮薬使用の有無、
発症時の妊娠週数、分娩の方法、分娩時の出血量、輸血の有無、子宮摘出の有無、
胎児心拍レベル分類および胎児心拍パターン

○子宮破裂が起こった際の赤ちゃんの情報

新生児仮死の有無、臍帯動脈血の pH、死産の有無、新生児死亡の有無

6 本研究の実施期間

西暦 2021 年 12 月 xx 日～2024 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものか一切
わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連
結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）
より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措
置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者・分担者

(代表者) 九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学 教授 加藤聖子

九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学 大学院生 中原一成

九州大学大学院医学研究院 保健学部門 教授 諸隈誠一

TEL:092-642-6708-

FAX092-642-6708:

Email: kkato@med.kyushu-u.ac.jp

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

Email: nissanfu@jsog.or.jp